

専 門 教 養
令和元年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
中・高等学校共通 保健体育

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為、携帯電話の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、17ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。
解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。
【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄の**マークは不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 の解答欄の③にマークしてください。

(例 1)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3 問題文中の 、 などの には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) 、、、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを 、、、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="2"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="3"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="4"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に 、 などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、、 のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\text{56}}{\text{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="5"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="6"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="7"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていないければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、、。」と表示のある問に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="11"/>	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="12"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="13"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

1 我が国の体育・スポーツに関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」(スポーツ庁 平成30年12月)の中学校生徒の調査結果に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 男子では握力、50m走、ハンドボール投げにおいて、女子では上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、立ち幅とび、ハンドボール投げにおいて、平成20年度の調査開始以降、平成30年度が過去最高値を示した。
- 2 男子では上体起こし、長座体前屈、持久走、50m走において、女子では握力、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げにおいて、平成20年度の調査開始以降、平成30年度が過去最高値を示した。
- 3 男子では長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とびにおいて、女子では上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびにおいて、平成20年度の調査開始以降、平成30年度が過去最高値を示した。
- 4 男子では反復横とび、持久走、立ち幅とびにおいて、女子では上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げにおいて、平成20年度の調査開始以降、平成30年度が過去最高値を示した。

[問 2] 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(スポーツ庁 平成30年3月)の内容として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 運動部活動は、生徒の状況に応じて、活動内容を決めることが大切であり、年間及び毎月の活動計画は作成しないようにする。
- 2 本ガイドラインの基本的な考え方は、学校の種類や学校の設置者の違いに関わらず該当するため、高等学校段階の運動部活動についても本ガイドラインを原則として適用する。
- 3 運動部顧問は、スポーツ医・科学の見地から休養日を設けることなく、トレーニング効果が得られる指導を行う。
- 4 少子化に伴い、単一の学校では特定の競技の運動部を設けることができない場合は、生徒を複数の運動部活動に所属させ、学校単位で出場する取組を推進する。

〔問 3〕 次の記述**ア**～**エ**は、「『東京都オリンピック・パラリンピック教育』実施方針」（東京都教育委員会 平成28年1月）の重点的に育成すべき五つの資質を伸ばすために推進する四つのプロジェクトに関するものである。**ア**～**エ**と、プロジェクトの種類A～Dとの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。解答番号は 3。

ア 「共生社会」の実現に向け、お互いの人格や個性についての理解を深め、自ら主体的に関わる方法を考えさせ、思いやりの心を育成するものであり、思いやりの心を育てる取組や、障害の有無にかかわらず、相互理解を図る教育を充実・拡大する取組。

イ 各学校が取り組んできた社会奉仕の精神を養う取組を充実・拡大させていくものであり、ボランティアマインドを育むとともに、自尊感情を高めていくために、発達段階に応じて、ボランティア活動を計画的・継続的に行う取組。

ウ オリンピアンやパラリンピアン等のアスリート等を学校に派遣し、直接交流を通して、オリンピック・パラリンピックの素晴らしさを実感できるようにするとともに、スポーツへの関心を高め、夢に向かって努力したり困難を克服したりする意欲を培う取組。

エ 世界には多くの国があり、その国の様々な人種や言語、文化、歴史などを学ぶことを通して、単に知識を広げるだけでなく、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解する取組。

- A スマイルプロジェクト
- B 世界ともだちプロジェクト
- C 夢・未来プロジェクト
- D 東京ユースボランティア

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア－A | イ－D | ウ－B | エ－C |
| 2 | ア－A | イ－D | ウ－C | エ－B |
| 3 | ア－B | イ－C | ウ－A | エ－D |
| 4 | ア－B | イ－D | ウ－C | エ－A |
| 5 | ア－C | イ－B | ウ－D | エ－A |
| 6 | ア－C | イ－D | ウ－A | エ－B |
| 7 | ア－D | イ－A | ウ－C | エ－B |
| 8 | ア－D | イ－C | ウ－B | エ－A |

2 事故防止及び安全管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「学校の管理下の災害 [平成30年版]」(独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成30年11月)の「高等学校等・高等専門学校における事故防止の留意点」に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **4**。

- 1** 課外活動では、野球の事故が最も多い。事故の背景には、生徒の体力不足が指摘されているので、互いに声を掛けたり、日頃から施設や用具を点検したりするなどの危険回避対策を行うよりも、体力の向上を最優先して行う必要がある。
- 2** 体育活動中の障害事故の特徴を挙げると、最も多い障害は歯牙障害で、次いで頭部・頸椎損傷による精神・神経障害、次に顔面打撲等による視力・眼球運動障害である。そのため、歯牙障害防止のための安全保護具としてマウスガードの使用を推奨している。
- 3** サッカーでは、他者の至近距離でボールを蹴ることが多いため、技術が未熟であったり、選手間に技術の差があったりした場合には事故発生の可能性が高まる。指導者は、能力に配慮した練習・試合を計画することを心掛けるべきである。
- 4** 保健体育の授業で最も事故が多いのは、走り高跳びで、着地の際にマットから外れて地面に落ちたり、着地の際に足首を捻ったりする事故がみられる。バーの高さを低く設定したり、走り高跳び専用のマットを設置したりするなど指導や用具の工夫が必要である。

[問 2] ゴール等の転倒による事故防止に関する記述として、「平成29年度スポーツ庁委託事業学校における体育活動での事故防止対策推進事業ゴール等の転倒による事故防止対策について」(独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成30年3月)に照らして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は **5**。

- 1** アルミ製のサッカーゴールは軽量に作られており、転倒した際に生じる衝撃力によって頭蓋骨を骨折する等の危険はないので、買い替えを進めている。
- 2** パイプの直径が12cmの移動式サッカーゴールは、重量が大きいため風により転倒することはない。
- 3** サッカーゴールの転倒防止策として、杭で固定するか、重りで固定することが必要である。重りは、総重量60kgの重りで固定する。
- 4** サッカーゴールを移動・設置する際には、指導者の立会いの下、十分な人数で全員が大きな声で声掛けを行うことが大切である。

[問 3] 学校管理下における熱中症事故に関する記述として、「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(公益財団法人日本スポーツ協会 平成30年7月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか、二つ選び答えよ。ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、 。

- 1 熱中症死亡事故は、7月下旬から8月上旬にかけて多く発生しているが、気温が低い2月でも発生している。
- 2 部活動中の熱中症死亡事故の数は、屋外種目では野球、屋内種目ではバスケットボールで多く発生している。
- 3 WBGTが16℃以下でも熱中症事故は起こり、28℃を超えると急激に増加するが、31℃以上になると発生件数は減少している。
- 4 熱中症死亡事故数は、女子が男子に比べ多く、体力や技術が未熟な小学校の低学年に多くみられる。

3 「体育」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 体づくり運動に関する記述**ア**～**エ**のうち、中学校第1学年及び第2学年に関するものを選んだ組合せとして中学校学習指導要領に照らして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせること。

イ 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うこと。

ウ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。

エ 実生活に生かす運動の計画では、自己の日常生活を振り返り、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るために、体の動きを高める運動の計画を立てて取り組むこと。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 器械運動のマット運動の学習の中で、グループごとに課題の技を決め、練習する時間を設けた。各グループの生徒への指導として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 側方倒立回転のグループで、回転している際に腰の位置が低くなり、真っ直ぐ進めないで、「腕立て横跳び越し」を練習していた。ある程度腰の位置が高くなってきたら、側方倒立回転は勢いが必要なため、倒立位の際に肘と膝を曲げて回転速度を上げるよう指導した。
- 2 前方倒立回転跳びのグループで、着地の際に膝が曲がってしまうので、ステージを使って着地の位置に落差を設けて練習していた。着地で膝が曲がらないようにするためにはマットに手が着いたとき、すぐに顎を引いて体を丸めて回転力を高めるよう指導した。
- 3 倒立前転のグループで、倒立から前転に移る際に回転が崩れてしまうので、補助倒立で倒立位となり、その後、前転することを練習していた。倒立位から前転へ移行しスムーズに回転するため、倒立後に頭を腹屈させ、後頭部がマットに着くのと同時に体を小さく丸めるよう指導した。
- 4 伸膝後転のグループで、膝を伸ばして立ち上がることができないので、マットを重ね着地時に落差をつくり膝が伸びやすい環境で練習をしていた。膝を曲げずに着地するためには、頭を抜くときに腰を開き、手の押しを同調させ、腰の高さを高くするよう指導した。

[問 3] 走り幅跳びの指導内容に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 踏み切りでは、上体を起こし、地面を踏みつけるようにキックし、振り上げ脚と両腕の強い引き上げを意識するよう指導した。
- 2 かがみ跳びの空中動作では、空中で大きく両脚を前後に動かし、交差させるよう指導した。
- 3 助走は、踏み切り前3～4歩から減速してリズムアップし、力強く踏み切って跳ぶよう指導した。
- 4 踏み切りでは、遠くまで跳ぶために踏み切り直前まで踏み切り板を注視し、上体を起こして高く跳び出すよう指導した。

[問 4] 次の文章は、高等学校第1学年の「水泳」の学習において、ある生徒が学習カードに書いた授業の振り返りに関するものである。この生徒に対する教師の指導に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

背泳ぎの練習をバディを組んで行った。バディのA君に「脚と腰が沈んでいるからキックがんばって」とアドバイスもらった。脚と腰が沈まないように泳ぐことを心掛けたい。

- 1 背浮き姿勢を身に付けることが大切であるため、頭部は両耳を水面上に置き、顎を上げ、目線は斜め前の方に向けた姿勢を取るよう指導する。
- 2 キックの際、左右の脚の幅は親指が触れない幅にする。蹴り上げ動作は、膝を中心にしてい、脚を自然に伸ばして蹴り上げるよう指導する。
- 3 腕の動作は小指側から入水させ、手のひらが水面近くを太ももに触れる程度までかき進め、小指側から水面に引き上げるよう指導する。
- 4 ビート板を胸の前や腹部に抱えたり、両手を頭上に組んで背中を伸ばしたりしてキックするよう指導する。

[問 5] 「2018オフィシャル・ソフトボール・ルール」(公益財団法人日本ソフトボール協会2018年2月)に示された、ソフトボールのルールに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 ストライクゾーンとは、打者が自然に構えたときの「みぞおち」と「膝の皿の底部」の間の、本塁上の上方空間をいう。
- 2 ストライクゾーンの左右の幅は、ホームプレートを上から見た状態で、ホームプレートに球がかかっているならば「ストライク」だが、球が接するだけでは「ボール」である。
- 3 後位の走者が、アウトになっていない前位の走者を追い越したとき、前位の走者がアウトになる。
- 4 打球が内野や外野のフェアグラウンド内に打たれたときに、一塁でプレイが行われた場合は、打者走者はオレンジベースと白色ベースのどちらに触れてもよい。

[問 6] 次の記述ア～エは、バスケットボールの試合におけるルールに関するものである。
「2018バスケットボール競技規則」(公益財団法人日本バスケットボール協会 2018年
4月)に照らして適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。
解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

- ア フロントコートからスローインで出されたパスを空中でボールをキャッチし、センターラインをまたいで着地した場合、バイオレーションとなる。
- イ ボールを持ったまま、意図せずフロアに滑ってしまい、横たわったままボールをコントロールして同じチームのプレーヤーにパスを出した場合、トラベリングとなる。
- ウ ひと続きの動作あるいは立ち止まってドリブルを終了した後、意図的にボールをバックボードに投げ、他のプレーヤーが触れる前にそのボールをキャッチした場合、ダブルドリブルのバイオレーションとなる。
- エ ショットは成功したが、ショットの動作中に相手チームのプレーヤーにパーソナルファウルをされた場合、得点は認められず、2本のフリースローが認められる。

[問 7] 「日本卓球ルールブック2017 (平成29年版)」(公益財団法人日本卓球協会 2017年3月)に示された、卓球のルールに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 サービスを行う際、手のひらにボールを乗せ、ほぼ垂直に15cm以上投げ上げ、ボールが落下してくるところを打球する。
- 2 促進ルールが適用されると、サービスは2本ごとに交替する。また、サーバーがサービスを含めて1分間で得点しないと、レシーバーの得点となる。
- 3 ダブルス競技では勝敗を決定する最終ゲームで、どちらかの組が5ポイント先取した時に、次にレシーブする組は、レシーバーの順序を交替しなければならない。
- 4 ダブルスの打球は各組の2人が交互に打ち終わった後、打つ順番は自由に変えることができるが、1人で3回連続で打つと、フォルトとなる。

[問 8] 次の図は、柔道の技の連絡の様子を示したものである。図に示した技の連絡に関する説明として適切なものは、下の1～6のうちのどれか。ただし、図中のⓐは「技をかける人」、ⓑは「技を受ける人」を示している。解答番号は 18。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- 1 ⓐは、ⓑを右後ろ隅に崩し、小外刈りで倒した後、足をさばいてⓑの体側に付き、肩固めで抑える。
- 2 ⓐは、ⓑを右後ろ隅に崩し、大内刈りで倒した後、引き手を離さずに、けさ固めで抑える。
- 3 ⓐは、ⓑを右後ろ隅に崩し、小内刈りで倒した後、足をさばいてⓑの体側に付き、横四方固めで抑える。
- 4 ⓐは、ⓑを左後ろ隅に崩し、小外刈りで倒した後、引き手を離さずに、けさ固めで抑える。
- 5 ⓐは、ⓑを左後ろ隅に崩し、大内刈りで倒した後、足をさばいてⓑの体側に付き、横四方固めで抑える。
- 6 ⓐは、ⓑを左後ろ隅に崩し、小内刈りで倒した後、足をさばいてⓑの体側に付き、肩固めで抑える。

[問 9] 次の図は、剣道の対人的技能を連続的に示したものである。この技の名称ア～ウと、技の説明A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。ただし、図中の右側の人物は「打ち手」、左側の人物は「受け手」であり、この図中では左右の立ち位置は入れ替わっていないものとする。解答番号は 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- ア 面すり上げ胴
- イ 面抜き胴
- ウ 面返し胴

- A 体当たりやつばぜり合いで隙が生じたところを、すかさず送り足で後方あるいは斜め後方に退きながら、相手の胴を打つ。
- B 相手の面打ちに対して、開き足でわずかに身体をかわしながら、相手の竹刀の側面をすり上げ、送り足を使って相手の胴を打つ。
- C 相手の面打ちに対して、足を斜め前に出し、自分の竹刀の側面で応じ、身体をさばくと同時に、竹刀を返して相手の胴を打つ。

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| 1 | ア－A | 2 | ア－C |
| 3 | イ－A | 4 | イ－B |
| 5 | ウ－B | 6 | ウ－C |

[問10] 次のア～オは、高等学校学習指導要領保健体育に示された、「体育理論」に関する記述である。入学年次に扱うものとして適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 、オが 。

ア 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められること。

イ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。

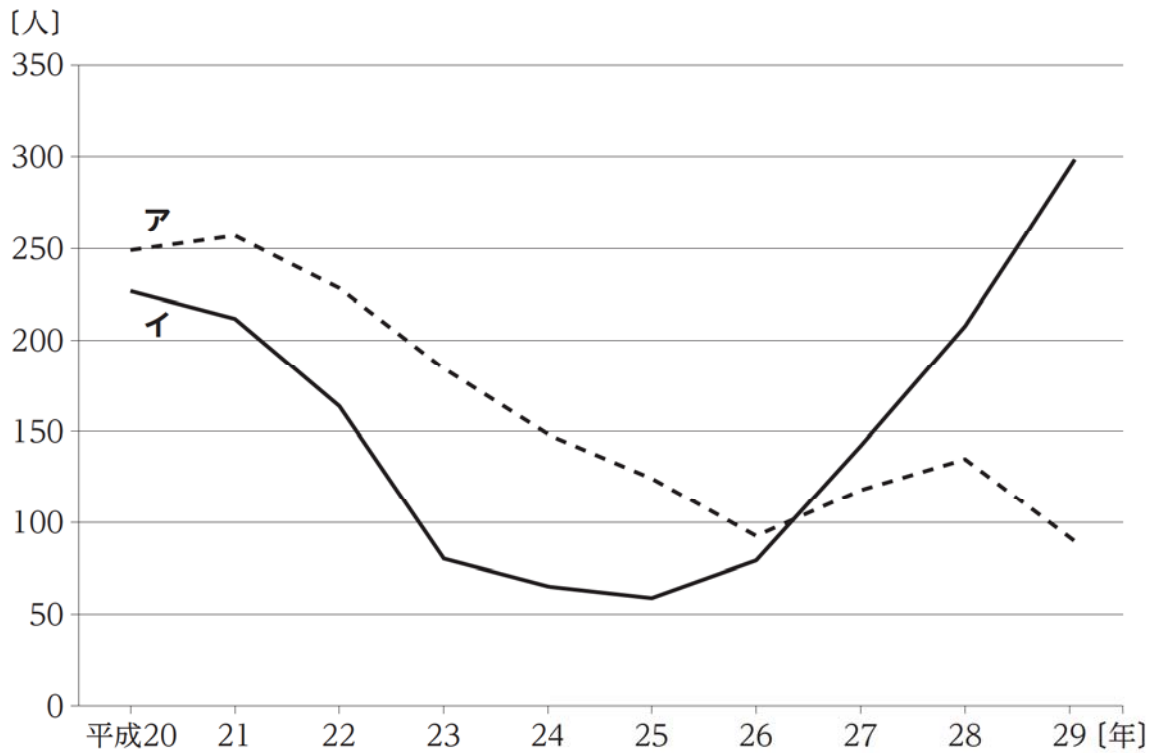
ウ 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であること。

エ 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。

オ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。

4 「保健」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、我が国の薬物乱用による犯罪少年の検挙人員の推移を示したものである。次の図中のア・イに当てはまる薬物乱用の事犯として適切なものは、下の1～4のうちどれか。解答番号はアが 、イが 。



(警察庁生活安全局少年課「平成29年中における少年の補導及び保護の概況」から作成)

- 1 覚醒剤事犯
- 2 シンナー等乱用事犯
- 3 大麻事犯
- 4 麻薬事犯

[問 2] 次の記述ア～エは、心の健康に関するものである。記述ア～エと、名称A～Dとの組合せとして最も適切なものは、下の1～8のうちではどれか。解答番号は 27。

ア 高校生の発症が多く、周囲で起きていることを自分と関係付けて被害的に解釈することが多くみられる。発病初期には、うつ状態、集中力低下、こだわり、不眠、不登校等が現れ、軽度で一過性の不調に見えることがあるため、注意が必要である。

イ 自然災害や事故、犯罪被害等が要因で、悪夢、不安・恐怖感、現実感喪失、自律神経失調等の身体症状、心理的退行など多彩な症状を伴う。さらに、トラウマを連想させる状況と関連したパニック障害を合併することもあるため、医療的対応が必要となる。

ウ 自身から報告することは少ないため、学校では気付かれないことが多い。家族内葛藤や個人の心理・身体・行動の特性、ストレス耐性等の自我の成熟度等が発症準備因子となる。

エ 激しい運動や疲労などの身体的因子や、不安、恐怖、怒りなどの精神的因子が存在するところに、ストレスが誘因となり発作的に起こる。胸が苦しくなる、動悸などとともに、手足のしびれ、硬直、ふるえ、頭痛、意識消失などの症状が現れる。

- A 心的外傷後ストレス障害
- B 神経性食欲不振症
- C 統合失調症
- D 過換気症候群

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-D | エ-C |
| 2 | ア-A | イ-D | ウ-B | エ-C |
| 3 | ア-B | イ-A | ウ-C | エ-D |
| 4 | ア-B | イ-C | ウ-A | エ-D |
| 5 | ア-C | イ-A | ウ-B | エ-D |
| 6 | ア-C | イ-B | ウ-A | エ-D |
| 7 | ア-D | イ-A | ウ-B | エ-C |
| 8 | ア-D | イ-B | ウ-A | エ-C |

[問 3] 次の梅毒に関する記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを全て選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**9**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 日本における梅毒の報告数は、平成22年から増加に転じ、平成24年から平成29年の間で6倍以上に急増している。10代後半から20代前半では、平成27年に女性の報告数が男性の報告数を上回った。

イ 治療については、早期の薬物治療で完治が可能である。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがある。完治しても感染を繰り返すことがあり、再感染の予防が必要である。

ウ 感染源は、エンテロウイルスという病原菌で、感染経路は性的な接触によって感染する。また、妊娠している人が梅毒に感染すると、流産、早産の原因となり、分娩時の産道感染では、新生児に結膜炎や肺炎を起こすことがある。

エ 感染から発症までの期間は、症状により3期に大別される。第1期は、感染から3週間前後の潜伏期間を経て、感染した部分にしこりができたり、鼠径部のリンパ節が腫れたりすることがあり、強い痛みを伴い、歩行に支障を来たす。

- 1 ア・イ
- 2 ア・イ・ウ
- 3 ア・ウ
- 4 ア・ウ・エ
- 5 ア・エ
- 6 イ・ウ
- 7 イ・ウ・エ
- 8 イ・エ
- 9 ウ・エ

[問 4] 次の文章は、高等学校「保健」の「環境と健康」の学習において、調べ学習を行った際に生徒が発表した内容である。この生徒の発表に対する教師の指導として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

私は、「環境の保健と私たちの役割」について調べました。

私たちは、価格や品質、デザインの良し悪しなどを基準に商品を購入していますが、その際、環境への負荷の少なさを基準にすることは、すぐに取り組むことができる環境対策の一つです。このような購入方法をグリーン購入と言い、商品に付けられているエコマークなどを参考にすることができます。エコマークは、製造から流通・使用・廃棄に至るまでの、商品のライフサイクル全体にわたる環境の負荷を考慮して認定された商品に付けられるものです。

また、グリーン購入については、平成13年に厚生労働省がグリーン購入法を施行しました。この法律には、国と独立行政法人等の責務、地方公共団体と地方独立行政法人の責務、事業者と私たち国民の責務が規定されています。私たちの責務は、物品を購入したり、借り受けたり、役務の提供を受けたりする場合は、可能な限り環境物品等を選択するよう努めることです。

一方、廃棄による環境への負荷を少なくするためには、消費者がごみの量を減らしたり、正しくごみを分別して廃棄したりすることが必要です。例えば、不要になったものを再使用するリユースや、不要となったものを資源として再利用するリサイクルなどの方法があります。最優先されるべきは調達量自体を抑制するリデュースです。

リサイクルについては、循環型社会基本法に基づき、様々な法律が定められていることが分かりました。例えば、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律です。これは、容器包装リサイクル法といわれるもので、消費者が種類ごとにリサイクルするものを別々に出し、それを市町村がそれぞれ収集し、事業者が再商品化するリサイクルシステムの確立を目指すものです。

資源を有効活用し、少ない環境への負荷で新商品をつくることのできる循環型社会を推進することは、環境汚染や私たちの健康被害の危険性を減らすことにつながるので、一人一人が意識して行動することが大切だと思いました。

- 1 エコマークに関する内容について誤りがあるため、調べ直すよう指導する。
- 2 グリーン購入法に関する内容について誤りがあるため、調べ直すよう指導する。
- 3 廃棄の仕方に関する内容について誤りがあるため、調べ直すよう指導する。
- 4 リサイクル関連の法律に関する内容について誤りがあるため、調べ直すよう指導する。

[問 5] 次の記述は、性に関する指導の留意点である。「『生きる力』を育む高等学校保健教育の手引き」(文部科学省 平成27年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 性に関する指導は、生徒たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっていることから、全てを集団指導で教えることが重要である。
- 2 性に関する指導は、保健体育科の科目「保健」のみで行うため、年間指導計画等を通じて保健体育科の教員のみ共通理解を図る必要がある。
- 3 性に関する指導は、保護者参観や学校公開日等で授業を公開したり、学校便り等で情報の提供をしたりするなどして、保護者や地域の理解を得ることが大切である。
- 4 性に関する指導は、保健体育科の科目「保健」では、生殖の機能について必ず取扱い、責任感を涵養することや異性を尊重する態度と関連付けることが重要である。

[問 6] 次の記述ア～オは、がん教育実施上の留意点である。「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」(文部科学省 平成28年4月)に照らして適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 、オが 。

- ア 専門家等の外部講師は、専門性を備えているので、授業計画の作成に当たっては外部講師が主体となるよう留意すべきである。
- イ 教員と外部講師は事前事後で打合せを行うことで、授業のねらいを押さえ、教育効果を高めることが期待される。
- ウ がん教育を実施する指導形態には、学校全体で行う場合と、学年単位で行う場合や学級単位で行う場合などがある。
- エ 各教科担任が実施する授業と、専門家等の外部講師の協力を得て実施する学校行事等は、それぞれ関連付けず指導することで成果を上げるように留意する。
- オ がん患者・経験者の体験談は貴重であるが、家族に経験者がいる場合などには、強い印象を与える可能性があることに留意しなければならない。

5 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 中学校学習指導要領保健体育の「各分野の目標及び内容」の〔保健分野〕の「目標」として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **36**。

- 1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
- 4 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

[問 2] 高等学校学習指導要領保健体育の「各科目」の〔体育〕の「内容の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **37**。

- 1 「D水泳」の運動については、泳法との関連においてスタート及びターンを取り上げること。入学年次のスタートの指導については、安全を十分に確保し、段階的に飛び込みの指導を行うこと。「保健」における応急手当の内容との関連を図ること。
- 2 「E球技」の運動については、入学年次においては「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」の中から二つを、その次の年次以降においては、「ゴール型」「ネット型」「ターゲット型」の中から一つ選択して履修できるようにすること。
- 3 「F武道」の運動については「柔道」又は「剣道」のいずれかを選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、相撲、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道などについても履修させることができること。
- 4 集合、整頓、列の増減、方向変換などの行動の仕方を身に付け、能率的で安全な集団としての行動ができるようになるための指導については、内容の「A体づくり運動」から「H体育理論」までの全ての領域において適切に行うものとする。

31 (32採用) 【 中高 保健体育 】

18

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号						
1	1	1	3			4	
	2	2	2			4	
	3	3	3	2			4
2	1	4	3			4	
	2	5	4			4	
	3	6	1			4	完全解答
		7	3				完全解答
3	1	8	1			4	
	2	9	4			4	
	3	10	1			4	
	4	11	4			4	
	5	12	1			4	
	6	ア	13	1			1
		イ	14	-			1
		ウ	15	1			1
		エ	16	-			1
	7		17	3			4
8		18	5			4	
9		19	6			4	
10	ア	20	-			1	
	イ	21	1			1	
	ウ	22	-			1	
	エ	23	-			1	
	オ	24	1			1	
4	1	ア	25	1		2	
		イ	26	3		2	
	2		27	5		4	
	3		28	1		4	
	4		29	2		4	
	5		30	3		4	
	6	ア	31	-		1	
		イ	32	1		1	
		ウ	33	1		1	
	エ	34	-		1		
	オ	35	1		1		
5	1	36	4			5	
	2	37	3			5	